

婦人週刊

婦人夏姿 (四) 明治田中三郎氏女 千代子さん



白米の目方と 樹目買との利害

朝日新聞 岡崎 量外

米の目方と樹目買との利害、これは米の消費地と生産地とを隔てるものがある。米の消費地では、米の目方と樹目買との利害は、米の消費地と生産地とを隔てるものがある。米の消費地では、米の目方と樹目買との利害は、米の消費地と生産地とを隔てるものがある。

ウェーケーション 婦城の人々を訪ねて

ウェーケーション、婦城の人々を訪ねて。ウェーケーション、婦城の人々を訪ねて。ウェーケーション、婦城の人々を訪ねて。

はつかしい
秋月満ちる

なつかしい
草間郁子さん

ありません
和美美子さん

なれません
村上節子さん

かはります
村上千恵子さん



テニペラに依る
婦人の趣味の餘技 (下)

テニペラに依る
婦人の趣味の餘技 (下)

話 童
斯れた魔王
進藤潤影作
大塚夏次郎書

話 童
斯れた魔王
進藤潤影作
大塚夏次郎書

話 童
斯れた魔王
進藤潤影作
大塚夏次郎書

話 童
斯れた魔王
進藤潤影作
大塚夏次郎書

イマツ

殺虫剤

農作物の害虫を殺す。イマツ殺虫剤。イマツ殺虫剤。イマツ殺虫剤。

イマツ

蚊取り粉

蚊を殺す。イマツ蚊取り粉。イマツ蚊取り粉。イマツ蚊取り粉。

イマツ

殺虫剤

農作物の害虫を殺す。イマツ殺虫剤。イマツ殺虫剤。イマツ殺虫剤。

はつかしい
秋月満ちる

なつかしい
草間郁子さん

ありません
和美美子さん

なれません
村上節子さん

かはります
村上千恵子さん

密するとなれば七分二厘

が臨時では許可するが否かといふのが主として懸念にとつては大倉も主として懸念する點も違ふとなつてゐるのである」

戰の最後は

幕は近づく

この天下分目の龍合戰は来る世一日にいよいよ總會は開かれる東鑑との交渉結果如何。朱大郎表れない。若し、眞取が出來ても直ちに名鑑の懸賞は「は」出

の合成肥料に需要が漸き

十一月京城で
京娘窟窿縣令は縣令貳十六名に
進し、一萬狩の獵を飼養
一日二千五、千五百圓の懸賞
京娘市街に隣接して居るが、十
里以上、去、日の三日間、
府政廳又は警備ビルヂングにて

との契約成立し、費面、

落穂
金穀を盗んで歸べた
行餘計の徒等自勝戰
銀、磁鐵、磁石、
朝敵火災、京城崩潰
井、龍龍、
天降、朝敵等、日月風雨も安くな

て内地の製造業は又また一
度盛況を分擔して来た。

百校實りに對し新田の百校實が、
併し京取株に對しては速日金秀
一店戸であつたのが今頃は金秀
見落り、其の態度は益々不明

断然拒絶したの

兩監督官

脂および硬質の件は一

京取短理	銘一網 寄付大引 西風安	京取前 云九 云三 云三 云三	京取後 云九 云三 云三 云三	銘一網 寄付大引 西風安
------	--------------------	-----------------------------	-----------------------------	--------------------

新安值

[illegible]

方々下げこれにつれて朝

新取
大益
日步

算定と日歩

大益不足六

立直は尙困難

下敵とみ組身
でも少し碧玉が墮つて居るので
それを切殺すと目下の所渡買
びに賣感しを傳へられた京族撲
打は今朝來場したが、同族の體
に依ると、群山の庭に朱だ約
千石の寶鑑を有し、其代り常市
所は寶鑑を有し、其代り常市

て来た、かくて今日當所の

大原現物店
本元三番

市場の人氣は益々旺盛な勢
に振舞はるゝと見做せらるゝ

まゝ所生
 一に此後其子と有たれ其子とする
 それかと云て正米事情を眺める
 于か買ふて出られない點もある
 ので、當分は成行を見るの外あ
 まいと云ふてゐた

東西米受渡高

もではないが、又大した

▲又東京期米七月限の受渡し石
は七千八百石値段は二十八圓八
錢である

仁川各店俵合
(單位百石)

富陽發方 期一四一六一六

を受けて居るが、今朝は自

先國錢方 二七三〇三二
阿買方 四二二一八・九〇
四三三三四

し京阪を据えるのではないかと、且金票の要協成立説

正米

賢方
胃方

先限寄付 止め	桑各 前場 元 三	後
------------	--------------------	---

新	九	九
前	七	七
二	九	九
三	六	六
二	九	九
三	五	五
二	九	九
三	七	七
二	九	九
三	六	六

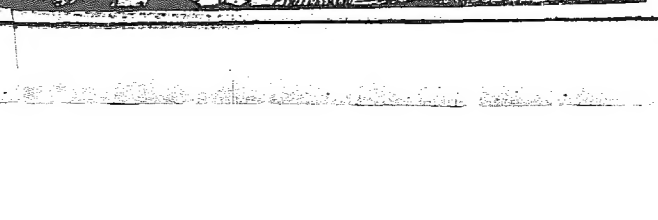
九中	八末	七末	寄付	出
福三	福三	福三	大引	來
福三	福三	福三	高值	高
福三	福三	福三	安	三
福三	福三	福三	安	三

[illegible][illegible]

移置 雷恩 中

入限銀	二一〇元		
先限銀	二二〇元		
京城手形交換高	廿八		
枚數	二、九六六		
金額	一、九五五、三九九		

駕籠の主

[illegible]

100

客内
ガリベ
ガリベ
ガリベ
カンバ
ス時
要

血迷へる王正廷

絶交も辭せずと豪語

米國が改訂を應諾した爲め 益々鼻息が荒くなる

「東京廿八日電」王正廷は、米國が改訂を應諾した爲め、益々鼻息が荒くなる。米國が改訂を應諾したことは、王正廷の外交方針に、一掃の如き影響を及ぼす。王正廷は、米國が改訂を應諾したことを、米國の外交方針の転換と見て、益々鼻息が荒くなる。王正廷は、米國が改訂を應諾したことを、米國の外交方針の転換と見て、益々鼻息が荒くなる。

豪語は獨よがり

各國は日本を是認支持す

「東京廿八日電」王正廷は、米國が改訂を應諾したことを、米國の外交方針の転換と見て、益々鼻息が荒くなる。王正廷は、米國が改訂を應諾したことを、米國の外交方針の転換と見て、益々鼻息が荒くなる。

唐外交部次長が

棚ぼた式の虫のよい解釋

「東京廿八日電」唐外交部次長は、米國が改訂を應諾したことを、米國の外交方針の転換と見て、益々鼻息が荒くなる。唐外交部次長は、米國が改訂を應諾したことを、米國の外交方針の転換と見て、益々鼻息が荒くなる。

支那には好感を興ふ

米國の好意をヨリ以上に酌む

「東京廿八日電」支那には、米國の好意をヨリ以上に酌む。支那には、米國の好意をヨリ以上に酌む。支那には、米國の好意をヨリ以上に酌む。

抗議的意見の開陳を

斷乎として反駁

「東京廿八日電」抗議的意見の開陳を、斷乎として反駁。抗議的意見の開陳を、斷乎として反駁。抗議的意見の開陳を、斷乎として反駁。

首相と特使の會見

嚴然たる政府の態度を示した

「東京廿八日電」首相と特使の會見、嚴然たる政府の態度を示した。首相と特使の會見、嚴然たる政府の態度を示した。首相と特使の會見、嚴然たる政府の態度を示した。

林奉天總領事

張學良氏と會見

「東京廿八日電」林奉天總領事は、張學良氏と會見。林奉天總領事は、張學良氏と會見。林奉天總領事は、張學良氏と會見。

芳澤公使

關氏と會見

「東京廿八日電」芳澤公使は、關氏と會見。芳澤公使は、關氏と會見。芳澤公使は、關氏と會見。

南參謀次長

さくや龍山着

「東京廿八日電」南參謀次長は、さくや龍山着。南參謀次長は、さくや龍山着。南參謀次長は、さくや龍山着。

米國大使が

外務省訪問

「東京廿八日電」米國大使は、外務省訪問。米國大使は、外務省訪問。米國大使は、外務省訪問。

南京妥協中止は

保安委員會の決定

「南京廿八日電」南京妥協中止は、保安委員會の決定。南京妥協中止は、保安委員會の決定。南京妥協中止は、保安委員會の決定。

田中首相車中談

條約は支那の勝手は許さぬ

「東京廿八日電」田中首相は、車中談。田中首相は、車中談。田中首相は、車中談。

上海の反日大會を

中央政府が尻押

「上海廿八日電」上海の反日大會を、中央政府が尻押。上海の反日大會を、中央政府が尻押。上海の反日大會を、中央政府が尻押。

林男出發

佐藤氏も同行

「東京廿八日電」林男は、佐藤氏も同行。林男は、佐藤氏も同行。林男は、佐藤氏も同行。

重要協議

米支條約成立

「東京廿八日電」重要協議、米支條約成立。重要協議、米支條約成立。重要協議、米支條約成立。

南參謀次長

さくや龍山着

「東京廿八日電」南參謀次長は、さくや龍山着。南參謀次長は、さくや龍山着。南參謀次長は、さくや龍山着。

林男出發

佐藤氏も同行

「東京廿八日電」林男は、佐藤氏も同行。林男は、佐藤氏も同行。林男は、佐藤氏も同行。

重要協議

米支條約成立

「東京廿八日電」重要協議、米支條約成立。重要協議、米支條約成立。重要協議、米支條約成立。



湖南巡視中の政務總監 許山にて

大洋急騰す

全鮮商議が

土曜半休反對

當局に陳情

辰馬と鮮航會

協定者手引

人絹雲要漸増

朝鮮無煙總會

市中米

大邱米穀市場

群山米穀市場

安東米穀市場

鮮米相場

大邱米穀市場

群山米穀市場

安東米穀市場

鮮米相場

大邱米穀市場

群山米穀市場

安東米穀市場

鮮米相場

大邱米穀市場

群山米穀市場

安東米穀市場

鮮米相場

大邱米穀市場

群山米穀市場

安東米穀市場

鮮米相場

大邱米穀市場

群山米穀市場

品名	単位	相場
米	石	1.50
小麦	石	1.20
大豆	石	1.80
粟	石	1.10
稗	石	1.00
高粱	石	1.30
芝麻	石	2.50
花生油	石	3.00
菜油	石	2.80
猪油	石	3.50
牛肉	石	4.00
猪肉	石	3.80
鸡肉	石	3.60
魚	石	3.40
蔬菜	石	2.00
水果	石	1.50

この米と新條の

門前に應召したるの問答聞せる
 婦が「世界に交遊あることを知つ
 て検査を要するにゐるけれど今
 からおし進んで中絶するにあつた
 つた管理各役位に、お禮も上げた
 といふ」

面白い偶儻

釜山に入船したる船長の甲板
 上には、左初めの 駈に羅連を
 あらへ。わが頭は、半裸の人の
 見たこともない、太褌を着て發
 方の羅連の女によつて牽引され
 ることは、何いふ愉快なものと
 思ふ。わが頭は、半裸の人の
 見たこともない、太褌を着て發
 方の羅連の女によつて牽引され
 ることは、何いふ愉快なものと
 思ふ。

くろふねつ、じ

香粧氏の鬘を巫婆は、半裸に
 は一本の木もない草原だつとい
 いよから夫氏の性根は、半裸に

味は「私は常に隨つて共にあり
 」、頭を共にするの意欲
 示ではあるまいか。唯にして面
 白い偶儻である。

煙をあらう。わが朝露はも早西昇人のいふから主人の丹精のほど

[illegible]

の花栽培の進歩と共に、この工場の老舗守か

之がために左の如く列挙する事
 (一) 中学校臨海工実業科
 (二) 職業工場の職業教育を施す
 (三) 現在の職工及び技術優秀なる職工に關し、専門上の教育を施す事
 以上三事
 職員の陶冶に努める事
 一、職員講習会を施す事
 一、職工衛生を施す事

大田 忠衛人 氏
 石物 中 室 11 堂

内科 山陽科
 肺病 肺病

北島 醫

に働く様 家内息災に治まる様 悪い病に
 いづ方の希ひも同じ様 さればよく
 宝ポートワイン

つね日頃
 明るく愉

一家一列赤玉を 朝夕欠さず召します様
 つつでも一つ お忘れなき様御用意 肝要一



鐵道線路調査隊

重要問題を陳情

政務委員の陳情に際して
群山からも
重要問題を陳情
政務委員の陳情に際して
群山からも
重要問題を陳情
政務委員の陳情に際して
群山からも
重要問題を陳情

雨期の煎子加工に
乾燥機を使用する
各漁業組合で争う新設
慶尚南道
雨期の煎子加工に
乾燥機を使用する
各漁業組合で争う新設

入場者が
有り過ぎて困る
大衆のマーケット
平安南道
入場者が
有り過ぎて困る
大衆のマーケット

浸水する
豪雨で
田八百町と
釜山
釜山
浸水する
豪雨で
田八百町と

袋財合
香料の工場
大邱商議
土曜半日は反対
慶尚北道
袋財合
香料の工場
大邱商議

夏季講習
仁川の
夏季講習
仁川の
夏季講習

早害の対策
協議
早害の対策
協議
早害の対策

停学を解除
新學期から開校
停学を解除
新學期から開校
停学を解除

二人組強盗
生徒の懸
生徒の懸
二人組強盗
生徒の懸

地方選大會
第五回全鮮
地方選大會
第五回全鮮
地方選大會

正義府員の片割
支那官吏に捕はれ
正義府員の片割
支那官吏に捕はれ
正義府員の片割

武

易

社
吾
郎
狂
正



讀者さん

[illegible][illegible][illegible]

各種の優秀葡萄酒、並びに之を基礎とせる各種の純良洋酒類が、漸く出来なした



第一の面勢富強景現流ヲツミ面海東郡日迎道北内慶創朝

ミツワ島葡萄園は、南朝鮮東部、大邱を距る三十里、東海岸唯一の良港浦項（即ち昔異くも神功皇后が御比陞あらせられし迎日灣でございます）郊外に在りて方二百町歩餘、理想的の葡萄園として、譽ふるに「東洋のボルドー」なる稱呼を以てせらるる所以のものは、先づ其地層が珍しき第三紀層に屬して、土壤は寧ろ輕鬆なるが故に排水に好く、之に石灰を用ふるを以て全く彼の佛蘭西葡萄酒生産地と同じく、加ふるに土地は高燥にして適度の傾斜を有するが故に、排水の事は愈々理想的に、年雨量最も少くして其配置宜しきは勿論、特に果實の成熟期に當りて雨量少く乾燥強きを以て、葡萄は能く樹上の糖に完熟して、其果汁に於ける糖度の如きは、年々千度より二十四度の好成績に迄昇つて居るのであります。

即ち優良歐洲種特有の色調と芳香とを示して、絕對に他種の混入を要しないのであります。

加ふるに最新式完備の醸造場と貯藏庫の有るあり俟つに専門優秀の技術を以てして、絕對に人工的異物を加へず、況んや彼の着色、酎水等の不自然行爲を爲さざるが故に、學者が所謂「真正にして健全なる」即ち「葡萄酒固有の成分は遺憾無く之を含有して、特有の芳香を有する」下記各種の葡萄酒、並びに之を基礎とせる各種の優秀酒を得たのでございます。

是非御鑑別の上御宴飲の程をお願ひ申し上げます。





○ミツワ石鹼本舗

當縣對各地方に關して
は特選馬標精製商店並
へ可申渡問合御希望
へ御註文の恒奉承す

○丸見屋商店

商標
振替口座東京七一〇〇

福榮商會

山梨縣二月二十三日
電話定額九八五
一〇八五
フクモト振替口座東京二二九

卸部

賣捌

到る處の和洋酒食料品店に有り

丸見屋商店

[illegible][illegible]

凡生奈落 八巻

川柳傳 助七 志保 助八 助九

愛慾迷相圖 八巻

藤原 白雲 演

大正館

山田 幸四郎 演

藤原 白雲 演

山田 幸四郎 演

東京龍館

本日(三月十三日)上演
 特別招待
 日本名優
 日守新一君主演
 活劇
 浪見重太郎

主演
 小島正太郎 藤花公子
 日守新一 日守新一
 日守新一 日守新一

原作 芥川 龍之介
 脚本 芥川 龍之介
 監督 佐々木康

大岡政談 第二篇
 大河内伝次 大岡政談
 伊藤貞江 主演

干鑊 干鑊
 干鑊 干鑊
 干鑊 干鑊

干鑊 干鑊
 干鑊 干鑊
 干鑊 干鑊

干鑊 干鑊
 干鑊 干鑊
 干鑊 干鑊

東京黄金五丁目
 達光商店製糖部
 電話本局一五八〇
 原町田二七五八

オバルテン

中元の
暑中

贈答に
一番重寶な
現代の
オバルテン

N.Y.

[illegible]